

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-197456

(43)Date of publication of application : 18.07.2000

(51)Int.Cl.

A23L 1/10
B65D 65/04
B65D 65/10
B65D 85/50

(21)Application number : 11-000863

(71)Applicant : SUZUKI MAKOTO
SUZUKI EIICHI

(22)Date of filing : 06.01.1999

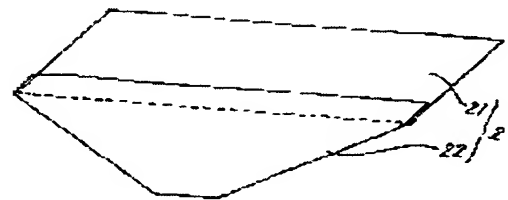
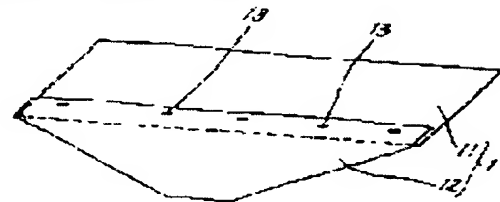
(72)Inventor : SUZUKI MAKOTO
SUZUKI EIICHI

(54) PACKAGED CONIFORM SUSHI AND PACKAGING SHEET THEREFOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a packaged coniform sushi allowing the package to be easily broken down without deforming the sushi.

SOLUTION: This sushi is obtained from the following steps: sandwiching a sheet-shaped food 3 between an outer film 1 and inner film 2; heat-welding the outer peripheries of the outer film 1 and inner film 2 to each other; superimposing nearly oblong tetragon sheet pieces 11 and 21 on the long sides, having the same length as those of the pieces 11 and 21 respectively, of nearly obtuse isosceles triangle sheet pieces 12 and 22; wrapping the inner sheet 2 faced inwardly around a boiled rice 5; rolling the sheets 1 and 2 in such a manner as to set the triangle sheet pieces 12 and 22 steepled by using a packaging sheet 6 detachably welded to the overlapped section between the sheet pieces 11 and 12; and binding the outer peripheries of the packaging sheet 6 to each other via heat welding and the sheet pieces.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 06.01.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2990196

[Date of registration] 08.10.1999

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-197456

(P2000-197456A)

(43) 公開日 平成12年7月18日 (2000.7.18)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)		
A 2 3 L	1/10	A 2 3 L	1/10	F	3 E 0 3 5
B 6 5 D	65/04	B 6 5 D	65/04	Z	3 E 0 8 6
	65/10		65/10	A	4 B 0 2 3
	85/50		85/50	E	

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-863

(22) 出願日 平成11年1月6日 (1999.1.6)

(71) 出願人 591154751

鈴木 允

大阪府寝屋川市八幡台11-29

(71) 出願人 598157096

鈴木 栄一

大阪府寝屋川市八幡台11-29

(72) 発明者 鈴木 允

大阪府寝屋川市八幡台11-29

(72) 発明者 鈴木 栄一

大阪府寝屋川市八幡台11-29

(74) 代理人 100066728

弁理士 丸山 敏之 (外2名)

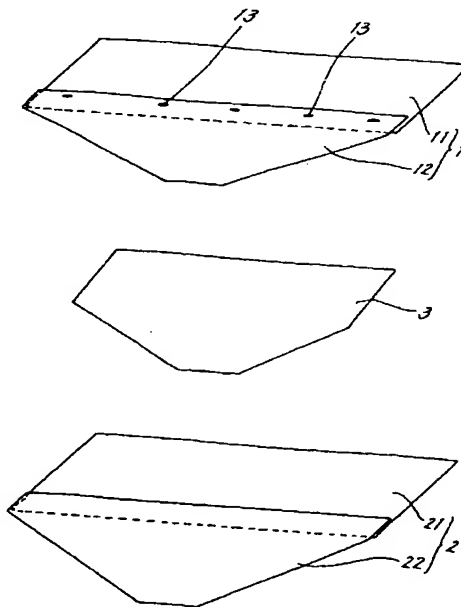
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 包装円錐状寿司及びその包装シート

(57) 【要約】

【課題】 包装円錐状寿司の包装を寿司の形状を崩さずに簡単に解く。

【解決する手段】 外フィルム1と内フィルム2との間にシート状食品3を挟み、外フィルム1と内フィルム2の外縁を熱溶着して形成され、外フィルム1及び内フィルム2は、略長方形の四角シート片11、21と該シート片11、21の長辺と同長さの一边を長辺とする略鈍角2等辺三角形の三角シート片12、22の夫々長辺を重ね合わせ、外フィルム1のシート片11、12の重なり部は剥離可能に溶着されている包装シート6によって、内フィルム2を内側にし、飯5を包んで三角シート片12、22側が先細となる様に円錐状に巻き、包装シートの外端をシート片、熱溶着によって接合されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 外フィルム(1)と内フィルム(2)との間にシート状食品(3)を挟み、外フィルム(1)と内フィルム(2)の外縁を熱溶着して形成され、外フィルム(1)及び内フィルム(2)は、略長方形の四角シート片(11)(21)と該シート片(11)(21)の長辺と略同長さの一边を長辺とする略鈍角2等辺三角形の三角シート片(12)(22)の夫々長辺を重ね合わせ、外フィルム(1)のシート片(11)(12)の重なり部は剥離可能に溶着して形成された包装シート(6)によって、該包装シート(6)の内フィルム(2)を内側にし、飯(5)を包んで三角シート片(12)(22)側が先細となる様に円錐状に巻き、包装シート(6)の外端をシール片(7)、熱溶着等によって接合した包装円錐状寿司。

【請求項2】 外フィルム(1)と内フィルム(2)との間にシート状食品(3)を挟み、外フィルム(1)と内フィルム(2)の外縁を熱溶着して形成され、外フィルム(1)及び内フィルム(2)は、略長方形の四角シート片(11)(21)と該シート片(11)(21)の長辺と略同長さの一边を長辺とする略鈍角2等辺三角形の三角シート片(12)(22)の夫々長辺を重ね合わせ、外フィルム(1)のシート片(11)(12)の重なり部は剥離可能に溶着されている包装シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、手巻き風に円錐状に巻いた包装円錐状寿司及びその包装シートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】出願人の一人は以前に、図7に示す手巻き風の円錐状寿司を包装シートで包装した包装円錐状寿司を提案した(特開平7-275447)。上記包装円錐状寿司の包装シートは、図5、図6に示す如く、矩形の外フィルム(100)と、2枚のフィルム片(210)(220)からなる矩形の内フィルム(200)との間にシート状食品(300)を挟み、外フィルム(100)と内フィルム(200)の外縁を熱溶着して形成されている。この包装シートによって、図6に示す様に、飯(5)と具(51)を円錐状に巻き、巻付け端をシール片(7)にて止めて包装円錐状寿司が完成する。

【0003】上記包装シートの内フィルム(200)は、同長さの2枚のフィルム片(210)(220)を夫々長手方向の内側縁を重ね合わせて長方形に形成されている。外フィルム(100)は1枚ものであるが、幅方向の略中央部に長手方向に沿う全長に亘ってカットテープ(4)が施されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】包装を解くには、外フィルム(100)のカットテープ(4)を剥がし、上側のフィルム片は上方に、下側のフィルム片は下方に引っ張るのであるが、カットテープ(4)は、寿司の円錐面に沿って先細側から拡大側へ螺旋状に延びており、シール片(7)

で閉じた位置から内側部分へは、シール(7)を外さない限りカットテープでのフィルムの切断ができず、無理にカットテープを引っ張ると円錐状寿司の形状が崩れてしまう。

【0005】シール片(7)を外してしまうと、カットテープ(4)の引っ張りに応じて包装シートの巻き付けがほどけてしまい、手指が飯に触れてべとつく。又、包装シートは矩形であり、これを円錐状に巻き付けたため、先細部ではフィルムの重なり面積が大きくなって、フィルム(120)(220)を下方に引っ張る際の抵抗が大となり、スムーズに引っ張ることは出来ず、無理に引っ張ると円錐状寿司の先細先端の飯が千切れてしまう。本発明は、上記問題を解決できる円錐状寿司及びその包装シートを明らかにするものである。

【0006】

【課題を解決する手段】本発明の包装シートは、外フィルム(1)と内フィルム(2)との間にシート状食品(3)を挟み、外フィルム(1)と内フィルム(2)の外縁を熱溶着して形成され、外フィルム(1)及び内フィルム(2)は、略長方形の四角シート片(11)(21)と該シート片(11)(21)の長辺と同長さの一边を長辺とする略鈍角2等辺三角形の三角シート片(12)(22)の夫々長辺を重ね合わせ、外フィルム(1)のシート片(11)(12)の重なり部は剥離可能に溶着されている。

【0007】本発明の包装円錐状寿司は、上記包装シート(6)によって、内フィルム(2)を内側にし、飯(5)を包んで三角シート片(12)(22)側が先細となる様に円錐状に巻かれ、包装シートの外端をシール片(7)、熱溶着等によって接合されている。

【0008】

【作用及び効果】円錐状寿司の包装を解くには、包装寿司の先細側を下にして、包装シート(6)の上縁を上方に引っ張る。内フィルム(2)は、上部の四角フィルム片(21)と下部の三角フィルム片(22)は最初から幅方向に2分されており、外フィルム(1)は、上部の四角フィルム片(11)と下部の三角フィルム片(12)は剥離可能に熱溶着されているだけであるから、飯(5)を円錐状に包んだ包装シート(6)の上縁を上方に引っ張ると、外フィルム(1)と内フィルム(2)の夫々の四角フィルム(11)(21)は、夫々相手三角フィルム(12)(22)から離れて持ち上がる。このときシート状食品(7)は、フィルム(12)(22)と滑るだけであり、シート状食品(7)と一緒に持ち上がることはない。

【0009】次に、円錐状寿司に被さったままのシートの下端を摘んで下方に引張ると三角フィルム(12)(22)だけが引き出され、シート状食品(3)は残って円錐状寿司に直接に被さる。

【0010】円錐状寿司の先細基端側では、従来の長方形の包装シートで包装した場合、フィルムの巻き重なり及びシート状食品の巻き重なりが増えてフィルムの引出

し抵抗が大きくなるが、本発明では、円錐状寿司の先細基端は三角フィルム(12)(22)で巻かれ、又、シート状食品も対応する部分は三角形であるから、フィルム及びシート状食品の巻き重なりは少なく、フィルムの引き出し抵抗は小さくなるのでスムーズにフィルムの引き出しができ、フィルム引き出しの抵抗が大きすぎて、円錐状飯の先端が千切れたり、寿司の形を崩すことを防止できる。

【0011】上記の様に、包装寿司を先細基端を下向きにして、包装シートを上方と下方に引っ張るだけで、簡単にフィルムだけを引き出して、シート状食品(3)を直に飯に被せることができる。

【0012】又、従来の矩形の包装シートで巻いた包装円錐状寿司のように、外フィルム(100)のカットテープ(4)を剥がす手間は要らず、又カットテープ(4)を剥がす際に、該テープの隠れた部分を無理に引っ張ることによって形が崩れることを防止できる。更に、包装シートの巻き付けがほどこて手指が直接に飯に触れることはなく、手がべつつく虞れもない。

【0013】

【実施例】外フィルム(1)は長さ225m、幅70mmの四角フィルム片(11)と、長辺長さ225mm、高さ約70mmの鈍角二等辺三角形の三角フィルム片(12)の、夫々の長辺側を約8mm幅で重ね合わせたものであり、該重なり部には容易に剥がれる様に、複数箇所がスポット的に弱く熱溶着されている。

【0014】内フィルム(2)も上記外フィルム(1)と同様に、四角フィルム片(21)と、鈍角二等辺三角形の三角フィルム片(22)の、夫々の長辺側を重ね合わせて、外フィルム(1)と同じ大きさに形成されている。実施例では、内フィルム(2)の重なり部は、単に重なっているだけで溶着は一切されていないが、外フィルム(1)と同様に、容易に剥離可能に溶着してもよい。

【0015】尚、四角フィルム片(11)(21)、三角フィルム片(12)(22)とは、角部が多少カットされているが、ほぼ長方形、ほぼ鈍角二等辺三角形であればよい。四角フィルム片(11)(21)及び三角フィルム片(12)(22)は、米飯に対してすべり易く且つ防湿性に優れたフィルムにて形成されている。

【0016】外フィルム(1)と内フィルム(2)との間にシート状食品(3)を挟み、両フィルム(1)(2)の外周縁を、前記各フィルム片(11)(12)、(21)(22)の重なり部を除いて熱溶着して包装シート(6)が形成される。

【0017】実施例のシート状食品(3)は、内、外両フィルム(2)(1)よりも一回り小さい家形に裁断されたシート状海苔(31)であるが、シート状海苔(31)に限ることではなく、シート状昆布等、食することのできるシート状食品であればよい。

【0018】上記包装シート(6)によって円錐状寿司を包装するには、先ず包装シート(6)の内フィルム(2)上

に飯(5)を載せる。飯(5)は略円錐状に纏めて、その先細基端が三角フィルム片(22)の鈍角側に位置する状態に載せれば包装し易い。包装シート(6)を四角フィルム片(11)(21)側が拡大する様に円錐状に飯に巻き付け、シートの外端をシール片(7)、熱溶着等にて接合する。

【0019】寿司の具(6)は、飯(5)と一緒に纏め、或いは、円錐状に巻いてから飯(5)の上に載せてもよい。外フィルム(2)の四角フィルム片(11)と三角フィルム片(12)は溶着されており、包装作業中にフィルム片(11)(12)間が開くことはなく、美しく包装できる。

【0020】包装円錐状寿司の包装を解くには、包装寿司の先細側を下にして、包装シート(6)の上縁を上方に引っ張る。内フィルム(2)の上部の四角フィルム片(21)と下部の三角フィルム片(22)は、最初から幅方向に2分されており、外フィルム(1)の上部の四角フィルム片(11)と下部の三角フィルム片(12)は、容易に剥離可能に熱溶着されているだけであるから、飯を円錐状に包んだ包装シート(6)の上縁を上方に引っ張ると、外フィルム(1)と内フィルム(2)の夫々の四角フィルム(11)(21)は相手三角フィルム(12)(22)から離れて持ち上がる。

【0021】次に、円錐状寿司に被さったままのシートの下端を掴んで下方に引張ると三角フィルム(12)(22)だけが引き出され、シート状食品(3)は、円錐状寿司に直接に被さる。

【0022】上記の様に、包装円錐状寿司を、その先細基端を下向きにして、包装シートを下方と上方に引っ張るだけで、シート状海苔(31)を直に飯に被せることができ、従来の様に、外フィルムをカットテープ等で2分する手間が要らない。

【0023】又、円錐状寿司の先細基端側では、従来の長方形の包装シートで包装した場合、フィルムの巻き重なり及びシート状食品の巻き重なりが増えてフィルムの引出し抵抗が大きくなるが、本発明では、円錐状寿司の先細基端は三角フィルム(12)(22)で巻かれ、又、シート状食品も対応する部分は三角形であるから、フィルム及びシート状食品の巻き重なりは少なく、フィルムの引き出し抵抗は小さくなるのでスムーズにフィルムの引き出しができ、フィルム引き出しの抵抗が大きすぎて、円錐状飯の先端が千切れたり、寿司の形を崩すことを防止できる。

【0024】本発明は、上記実施例の構成に限定されることはなく、特許請求の範囲に記載の範囲で種々の変形が可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】包装シートの分解斜面図である。

【図2】包装シートの斜面図である。

【図3】図2A-A線に沿う包装シートの断面図である。

【図4】包装円錐状寿司の斜面図及び、引出したフィルム片の斜面図である。

【図5】従来の包装シートの分解斜面図である。

【図6】従来の包装シートの斜面図である。

【図7】従来の包装円錐状寿司の斜面図である。

【符号の説明】

(1) 外フィルム

(11) 四角フィルム片

* (12) 三角フィルム片

(2) 内フィルム

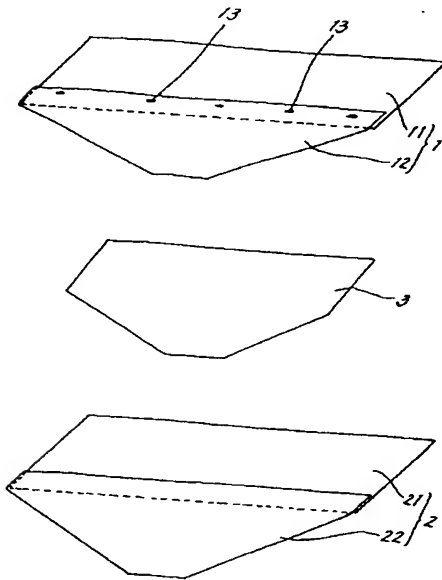
(21) 四角フィルム片

(22) 三角フィルム片

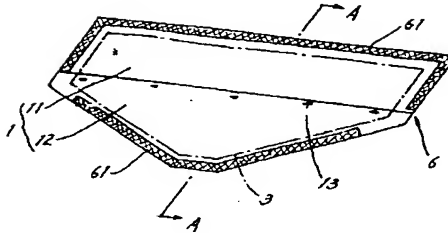
(3) シート状食品

* (7) シール片

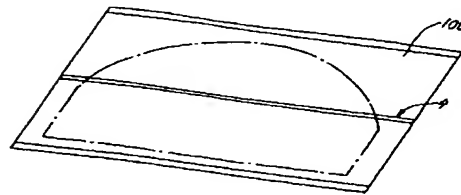
【図1】



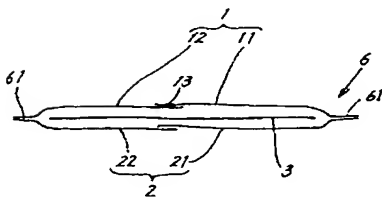
【図2】



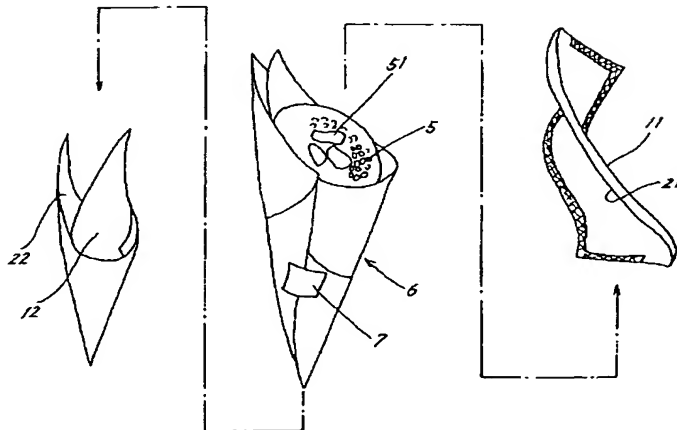
【図6】



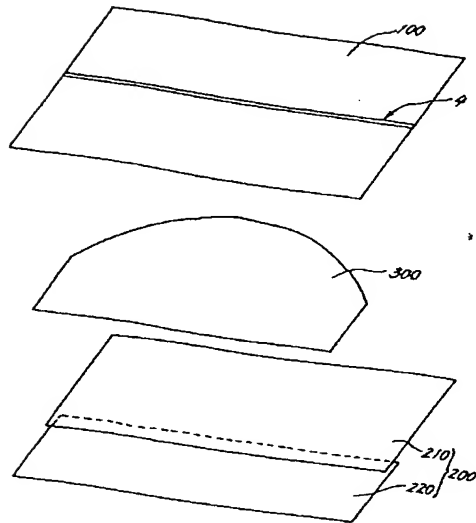
【図3】



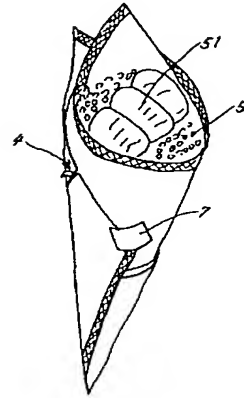
【図4】



【図5】



【図7】



フロントページの続き

F ターム(参考) 3E035 AA10 AB10 BA10 BB01 BC02
 BD04 CA08
 3E086 AA12 AC06 BA15 BB51 CA02
 4B023 LE16 LP18